

佳作 慌てず落ちついて解決すれば良い



レ ティ ミ ハイ
LE THI MY HANH
国 籍 ベトナム
職 種 介護
実習実施者 株式会社ツクイ
監 理 団 体 協同組合企業交流センター

小さい頃から日本についての番組を見た事がきっかけで、日本文化に興味を持ち始めました。知らない国で一人で暮らすのは不安でしたが、「自分の知識を高めたい、日本文化にも直接触れたい」と思い、散々迷いましたが日本で働くことにしました。

福島県で働くとき聞いた時、すごく怖かったのと心配もしました。福島県は2011年3月11日大地震が起きたことを思い出すからです。でも、日本は地震が多い国だそうです。日本で働くからには、その怖さに勝たなければならないと思うようになりました。日本に来てちょうど2年が経ちました。2年前の私に比べて、自分が少し成長したと感じます。

最初の一年目に気がついたことがあります。それは、一人で生活を始めて家族の有難さや離れ離れの寂しさです。でもこの道を自分で選んだので、もっと努力しないといけないと思い、毎日仕事と日本語の勉強を頑張りました。一年目の日本の生活はうまくいったと思います。しかし、2年目は大変なことが起きました。ベトナムには地震がありません。今年の3月16日の夜、私は本を読んでいる最中に地震が起きました。今回の地震もいつも

と同じくらいと思って何も動かしませんでした。でもどんどん揺れが大きくなり、アパートが大きく揺れ私の心も揺らぎ始めました。1回目は縦揺れ2回目はすごい横揺れ。1分以上揺れて立ってられないほど強い地震でした。タンスや台所にある物が落ちたり、茶碗が割れて「外に出たい出たい」と思いつつ怖いせいか一歩も自分で動けませんでした。怖い怖いどうすればいいかわかりません。もう両親に会えないのかもという思いが一瞬頭の中に浮かび泣きそうでした。ふと、ある先輩が教えてくれたことを思い出しました。それは地震が起きた時「慌てずに落ち着いて行動しないといけない」という言葉です。その言葉の通りに深く呼吸してガスを確認、玄関の鍵を開けて頭を守りテーブルの下に逃げました。地震がおさまり、落ち着いて外に出ると近所の人達が「大丈夫ですか、ケガしてないですか？」と声を掛けてくれました。初めて大きな地震を経験した私にとって、周りからかけられた声は本当に感動しました。いつまた地震が起きるか、怖くて不安でその夜眠れなかったです。その後も余震が続いて今度は会社で経験しました。震度2、3なのであまり揺れなかったけど、お客様に安心していただけるように様子を見に行ったり、声掛けを行ったりしました。揺れを感じたお客様は不安になりフロアに出てイスに座りました。その姿を見て私も一緒に座りました。

この経験から学ぶ事もありました。地震はいつ来るかわかりません。非常用袋を準備して、揺れを感じたら大きな家具や窓ガラスから離れ、何も倒れてこない落ちてこない場所で身を守る。地震は怖いです。でも、日本に長く住みたいと思っています。日本で暮らしている皆さんのご無事をお祈りしています。